



J. F. OBERLIN

桜美林大学主催

若手演奏家のための ホルンコンクール2019



コンクールの概要

「練習ではうまく演奏できるのに、本番では緊張してうまく演奏できない」と感じたことはありませんか？

この現象を検討するため本コンクールでは参加者に計測器を付けて、奏者の心拍数、筋肉の活動、マウスピースを唇に押し付ける力を計測します。

若手演奏家を対象にした「科学的アプローチによる実験」と「コンクール」を兼ね備えた新しい試みです。

2019年3月1日(金)

審査開始 14:00 (開場 13:30)

和光大学ポプリホール鶴川

〒195-0053 東京都町田市能ヶ谷1丁目2-1
小田急線 鶴川駅北口下車 徒歩3分

申込締切：2018年11月30日(金)

参加定員：12名

参加費：無料

演奏曲目：指定する全5曲

詳細は桜美林大学ウェブページをご確認ください

主催：桜美林大学芸術文化学群音楽専修

監修：日本ホルン協会

後援：一般社団法人東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団、上野学園大学、

(株)河合楽器製作所、(株)下倉楽器、(株)セントラル楽器、(株)宮地商会、公益財団法人読売日本交響楽団、
昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、つの笛集団、町田市、ヤマハ音楽振興会 (五十音順)

日本学術振興会採択研究活動
課題番号 17K18079

科研費
KAKENHI

本コンクールの目的

科学的アプローチでコンクール本番とリハーサルとのデータを比較することで、演奏者の身体的状態・心理的状态とパフォーマンスとの関係を検証することを目的としています。これにより、将来的に演奏家が緊張を感じながらも本番で充分に実力を発揮するための示唆を得ることが期待できます。

本コンクールの特徴

- ・参加者は演奏者であると同時に実験の被験者にもなるため、参加費は無料です。
- ・18歳～26歳までの若手演奏家に参加資格があり、参加者の定員は12名です。
- ・審査員からの評価と計測した自身のデータがフィードバックされます。
- ・審査員は音楽の表現力と演奏の技術力を評価し、入賞者には賞金が授与されます。
- ・ご来場いただいた聴衆者の投票により「オーディエンス賞」受賞者が選ばれます。

参加資格

- ・2019年3月1日時点の年齢が18歳～26歳の者
- ・ホルンを専攻する大学生、大学院生、卒業生またはそれに準ずる能力を有する者
- ・将来、プロのホルン奏者として生計を立てることを目指している者
- ・日本国内に在住している者
- ・本コンクールの目的に賛同し、コンクール本番とリハーサルの両日に参加できる者

日程

- ・コンクール本番：2019年3月1日（金）審査開始14:00（開場13:30）
- ・リハーサル：下記の4日間のうちいずれか1日
2019年2月25日（月）、2月26日（火）、2月27日（水）、2月28日（木）
（リハーサル日は主催者が決定し、各参加者に通知します）

演奏曲目

- 1曲目：J. ブラームス / ピアノ協奏曲第2番 第1楽章 冒頭5小節 1stパート
- 2曲目：L.v. ベートーヴェン / 交響曲第6番 第5楽章 5小節分 1stパート
- 3曲目：R. シュトラウス / ティル・オイレンシュピーゲルの愉快な悪戯 15小節分 1stパート
- 4曲目：P. チャイコフスキー / 交響曲第4番 第1楽章 冒頭20小節 1stパート
- 5曲目：M. ラヴェル / 亡き王女のためのパヴァーヌ 冒頭21小節 1stパート

審査員

審査員長：松岡邦忠（桜美林大学教授、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団、ホルン奏者）
審査員：飯笹浩二（洗足学園音楽大学教授、つの笛集団、ホルン奏者）
伴野涼介（読売日本交響楽団、日本ホルン協会常任理事、ホルン奏者）
萩原顕彰（上野学園大学非常勤講師、日本ホルン協会常任理事、ホルン奏者）
樋口哲生（昭和音楽大学教授、日本ホルン協会会長、ホルン奏者） 五十音順

お問い合わせ：hirano@obirin.ac.jp（平野）

詳細は桜美林大学ウェブページをご確認ください

https://www.obirin.ac.jp/info/year_2018/french-horn_contest.html

